泉大津市文化財調査報告43

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報27

2009・3

泉大津市教育委員会

泉大津市文化財調査報告43

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報27

2009・3

泉大津市教育委員会

例　　言

1．本調査概報は、泉大津市教育委員会が市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、開発行為に先立って実施した発掘調査報告である

2．本調査は、国庫補助事業（補助対象経費1,500,000円、国庫補助率50%・市負担率50%）として泉大津市が計画・実施したものである。

3．本事業は平成20年度事業として、平成20年４月１日に着手し、平成21年３月31日に完了した。

4．本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者	泉大津市教育委員会教育長　中井　　譲
事　務　局	泉大津市教育委員会事務局　生涯学習課
担　当　者	大野　良輔
〃	村田　文幸
嘱　　託	奥野　美和
	日野　祥子
外業調査補助員	豊島　享志

5．整理作業に従事したものは、下記のとおりである。

内業調査補助員　野田　由恵　　岸本　和美
　　廣田　由美子

6．本書の座標は世界測地系を使用している。

7．出土品および原図・写真類は、泉大津市教育委員会事務局が保管している。

8．本書の執筆、編集は奥野、村田が行った。

目　　次

第１章　泉大津市と埋蔵文化財調査の状況

１．泉大津市の位置と環境……1

２．埋蔵文化財調査の現状……3

３．表１　試掘確認調査一覧……4

４．試掘確認調査位置図……5

第２章　試掘確認調査結果

１．豊中遺跡　2008－01地点……7

2008－07地点……10

2008－08地点……11

２．池上曽根遺跡　2008－05地点……17

３．虫取遺跡　2008－02地点……19

2008－03地点……21

2008－06地点……22

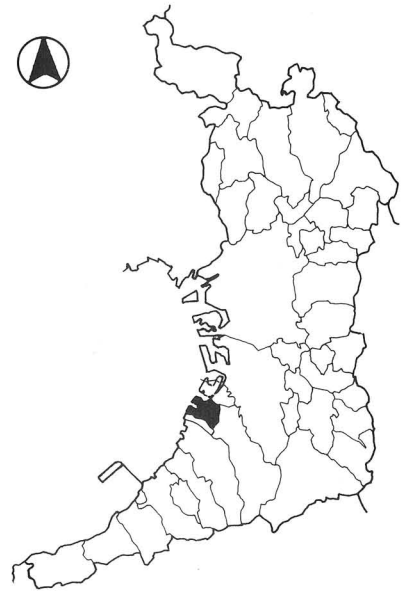
４．板原遺跡　2008－04地点……24

５．池浦遺跡　2008－09地点……26

2008－10地点……28

第１章　泉大津市と埋蔵文化財調査の状況

１．泉大津市の位置と環境

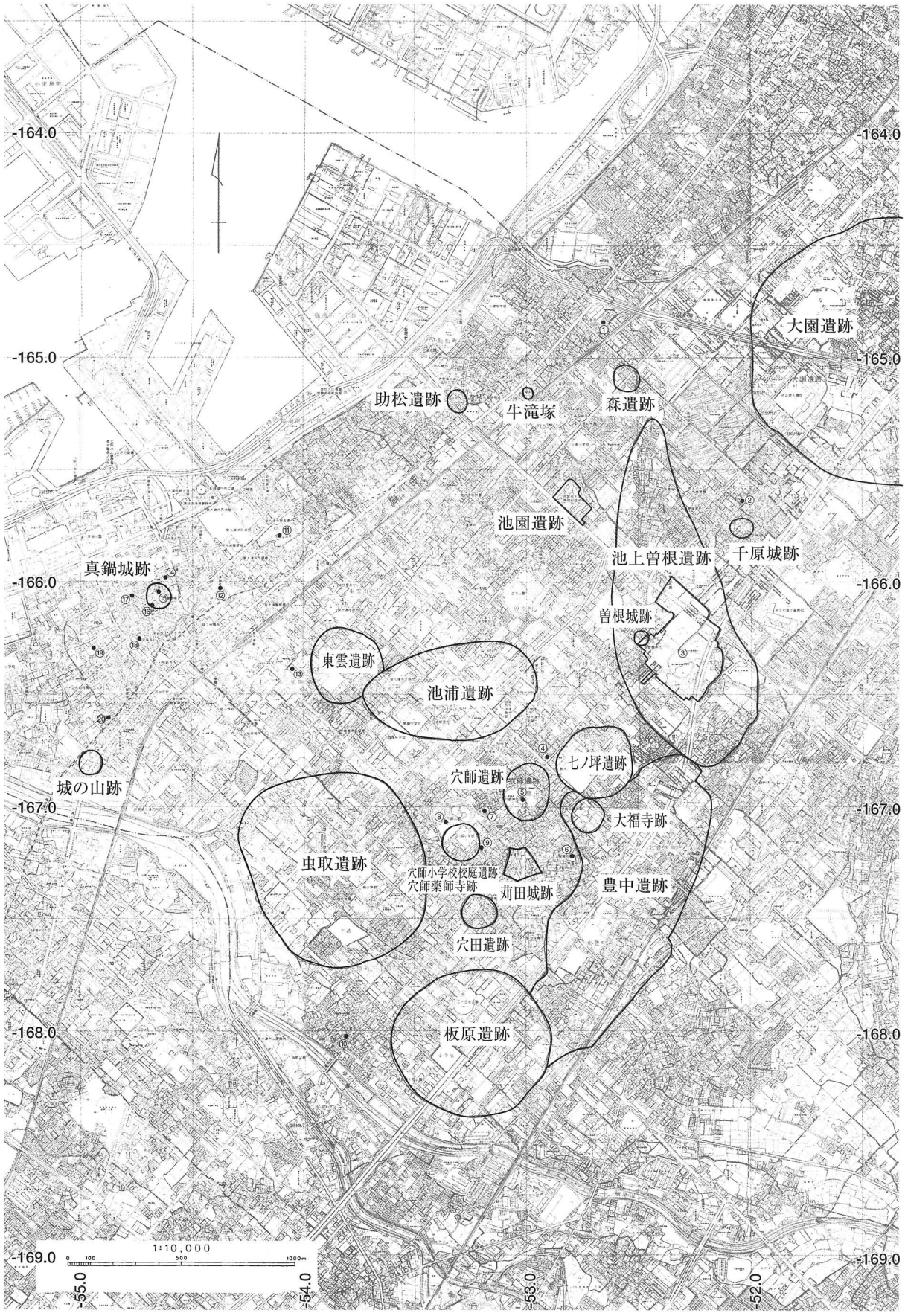


第１図　泉大津市の位置

泉大津市は大阪府南部の泉州地域に位置する。北部・東部は高石市と和泉市、南部は大津川を境として泉北郡忠岡町と隣接している。泉州地域東部には、大阪湾に沿って東西に和泉山脈が連なる。その山脈を源として幾多の河川が北に走行し、大阪湾に注ぐ。これらの河川はそれぞれ開析谷、河岸段丘を形成し、その両側には丘陵地形が南北方向に発達している。その丘陵より北側は平坦で狭小な沖積地が形成されているが、泉大津市はこの沖積地上に立地しており、市域の標高は20m未満である。

泉大津市は面積12.94km²、うち約3.98km²が公有水面の埋立地である。人口78,340人（平成20年12月1日現在）、東西5.5km、南北4.5kmにわたる都市である。昭和40年頃から開発が進み、現在は市域全域が市街地化されている。市域は大阪湾に面した臨海部の工業地域、南海本線から阪和線にかけての住居地域と商工業地域が混在する地域、国道26号線周辺の商業地域に大きく分けることができる。住居地域には、助松の紀州街道沿いと泉穴師神社周辺にそれぞれ風致地区を設けている。近年、臨海部の高層住宅や繊維工場跡地への分譲住宅の建設が進み、市の景観の変化は著しい。いわゆるバブル景気崩壊以後、大規模開発は下火になっているものの、古い民家の取り壊しや建替えなどが進み、町並みにも大きな変化が見られる。

第２図　市内遠望


-164.0
-165.0
-166.0
-167.0
-168.0
-169.0
-55.0
-54.0
-53.0
-52.0
大園遺跡
助松遺跡
牛滝塚
森遺跡
池園遺跡
千原城跡
池上曽根遺跡
真鍋城跡
曽根城跡
東雲遺跡
池浦遺跡
七ノ坪遺跡
穴師遺跡
城の山跡
大福寺跡
虫取遺跡
穴師小学校校庭遺跡
穴師薬師寺跡
苅田城跡
豊中遺跡
穴田遺跡
板原遺跡
1:10,000
0 100 500 1000m

第３図　遺跡分布図

2．埋蔵文化財調査の現状

本概報は、平成20年１月～12月の期間に埋蔵文化財発掘届の提出があり、そのうち国庫補助事業により発掘調査を実施したものを対象とする。当該期間内の埋蔵文化財届出数は145件、延べ147遺跡で、うち10件を国庫補助事業として発掘調査を行った。

第４図は、遺跡別工事件数の内訳である。遺跡別に届出件数をみると、虫取遺跡、豊中遺跡、池上曽根遺跡、池浦遺跡の順で多い。総届出件数に占める工事内容で最も多いのはガス・上水道（72件）で45%、次いで個人住宅（24件）15%、分譲住宅（23件）で14%を占める。この傾向は例年と同様である。近年の特徴として下水道管渠掘削工事の増加が挙げられる。下水道管渠掘削工事にはガス・上水道管の移設工事が伴うため、こちらの工事数も増加の傾向にある。今後も下水道管渠埋設工事の継続が計画されており、届出件数の増加要因となると考えられる。

本概報で報告する調査は、豊中遺跡３件、池上曽根遺跡１件、虫取遺跡３件、板原遺跡１件、池浦遺跡２件の合計10件である。いずれも建物基礎掘削深度、もしくは下水道管渠埋設のための掘削深度が遺構面を損壊する可能性があるため、着工前の試掘確認調査を行ったものである。

第４図　遺跡別工事内容内訳

3．試掘確認調査一覧

○豊中遺跡

調査番号	所　在　地	用　途	届出面積(㎡)
2008－01	北豊中町２丁目988－１番の一部	店舗建設	147.36
2008－07	東豊中町３丁目18番１ 和泉市伯太町１丁目139番１	その他（寄宿舎）	640.23
2008－08	北豊中町１丁目・２丁目地内	下水道管渠布設	661.0

○池上曽根遺跡

調査番号	所　在　地	用　途	届出面積(㎡)
2008－05	森町２丁目161番の一部、162番	共同住宅	970.09

○虫取遺跡

調査番号	所　在　地	用　途	届出面積(㎡)
2008－02	我孫子２丁目192	店舗	1424
2008－03	池浦町１丁目24番５、24番１の一部	個人住宅	217.04
2008－06	虫取町２丁目96番１	工場建設	1723.33

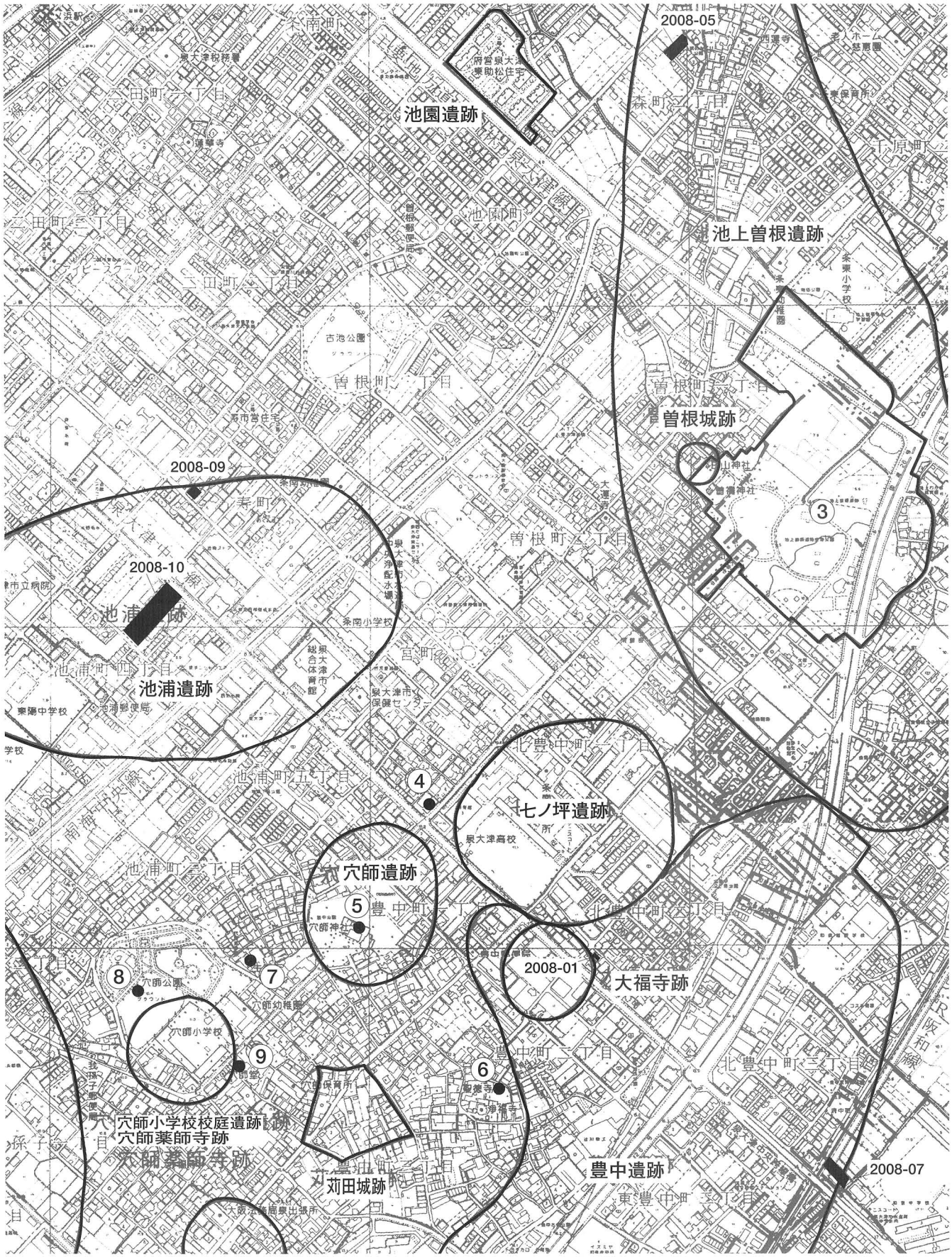
○板原遺跡

調査番号	所　在　地	用　途	届出面積(㎡)
2008－04	我孫子113番地１号	共同住宅	1073.52

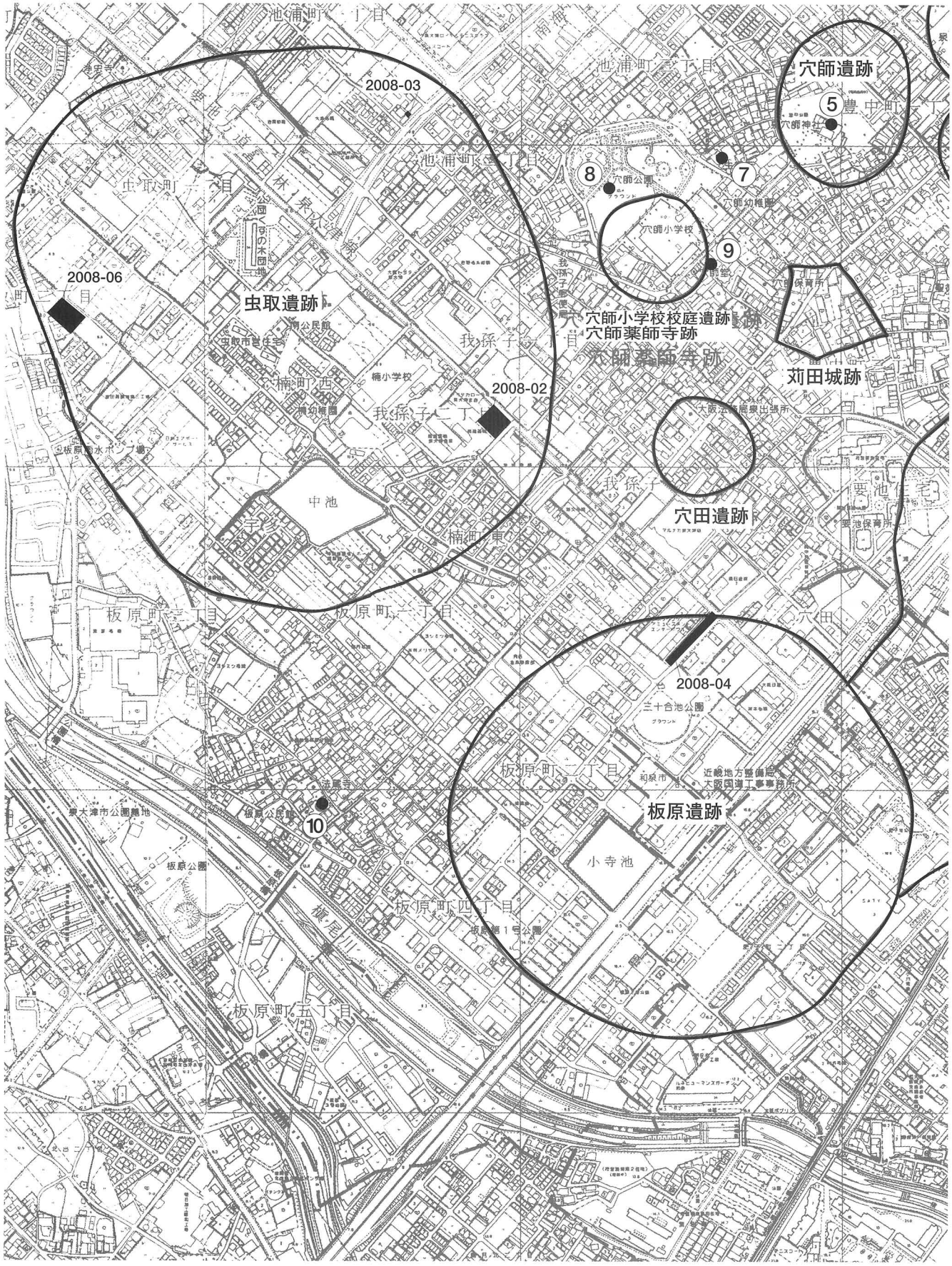
○池浦遺跡

調査番号	所　在　地	用　途	届出面積(㎡)
2008－09	寿町78番１	個人住宅	224.39
2008－10	池浦町４丁目308番１、309番１、310番１	その他（葬儀場）	3449.76

4．試掘確認調査位置図



第5図


2008-03
2008-06
2008-02
2008-04
虫取遺跡
穴師遺跡
穴師小学校校庭遺跡
穴師薬師寺跡
苅田城跡
穴田遺跡
板原遺跡
⑤
⑦
⑧
⑨
⑩

第6図

第２章　試掘確認調査結果

１．豊中遺跡

遺跡は本市東部に位置する。豊中遺跡は東西0.6km、南北1.2kmに広がり、遺跡のほぼ中心を国道26号線がはしり、東部から南部は和泉市域にまたがる。国道26号線付近からは古墳時代、泉大津中央線付近からは平安～中世の集落が確認されており、南北方向に流れる水脈上には複数の井戸が造られている。本年度は、店舗建設工事（１件）、住宅建設工事（１件）、下水道管渠布設工事（１件）計３件の試掘確認調査を実施した。以下、調査地点ごとにその詳細を示す。

２００８－０１地点（北豊中町2丁目988－1番の一部　平成20年1月15日調査）

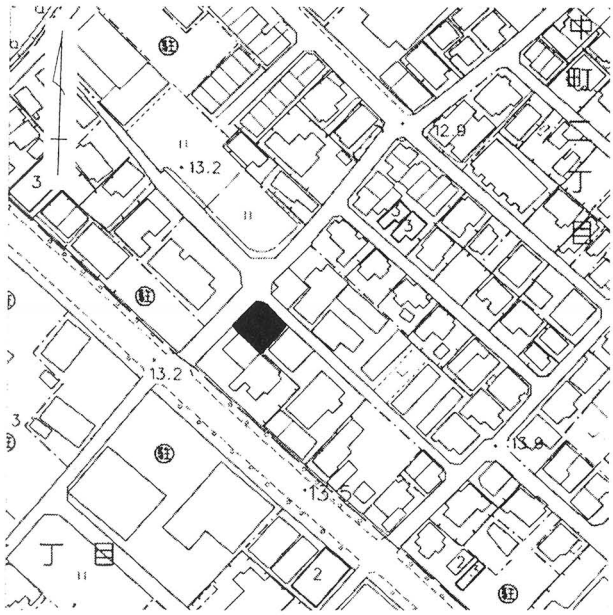
店舗建設に先立つ調査である。豊中遺跡の北東部に位置し、大福寺跡に隣接する。調査地の東隣は調査（調査番号2006－01地点）を行い、中世の掘立柱建物・井戸などを確認している。

構造物建築予定箇所にトレンチを２本（１Ｔ・２Ｔ）設定し重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

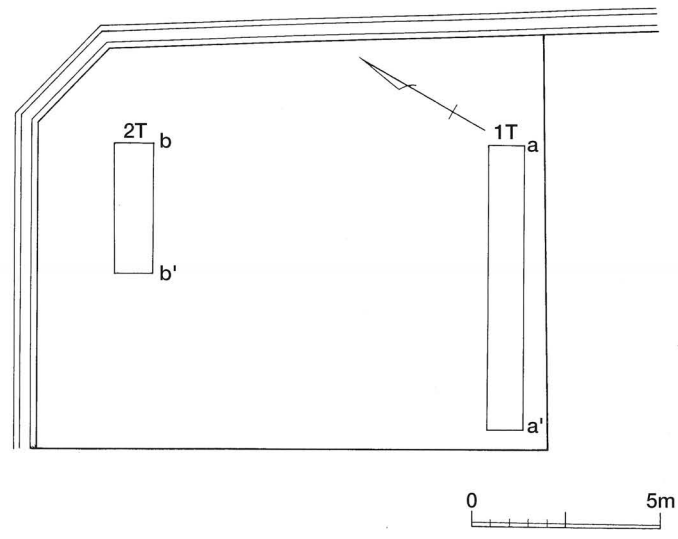
現地表面から40～60cm程度は盛土である。その下に旧耕作土である暗灰色粘質土層が約20cm堆積するが、一部は現代の撹乱により残存しない。その下に包含層である灰褐色シルト層、地山である明褐色土が堆積する。地山を切り込むように灰色粘土、灰色シルトが堆積する。この層は自然流路と考えられる。2006－01地点の南部で検出された自然流路と一連のものであろう。調査区周辺は幾筋もの自然流路が南から北方向へ流れていたことが確認されており、本流路もその一部であると考えられる。

調査区全体が流路内であると推測され、明確な遺構・遺物は確認されなかった。

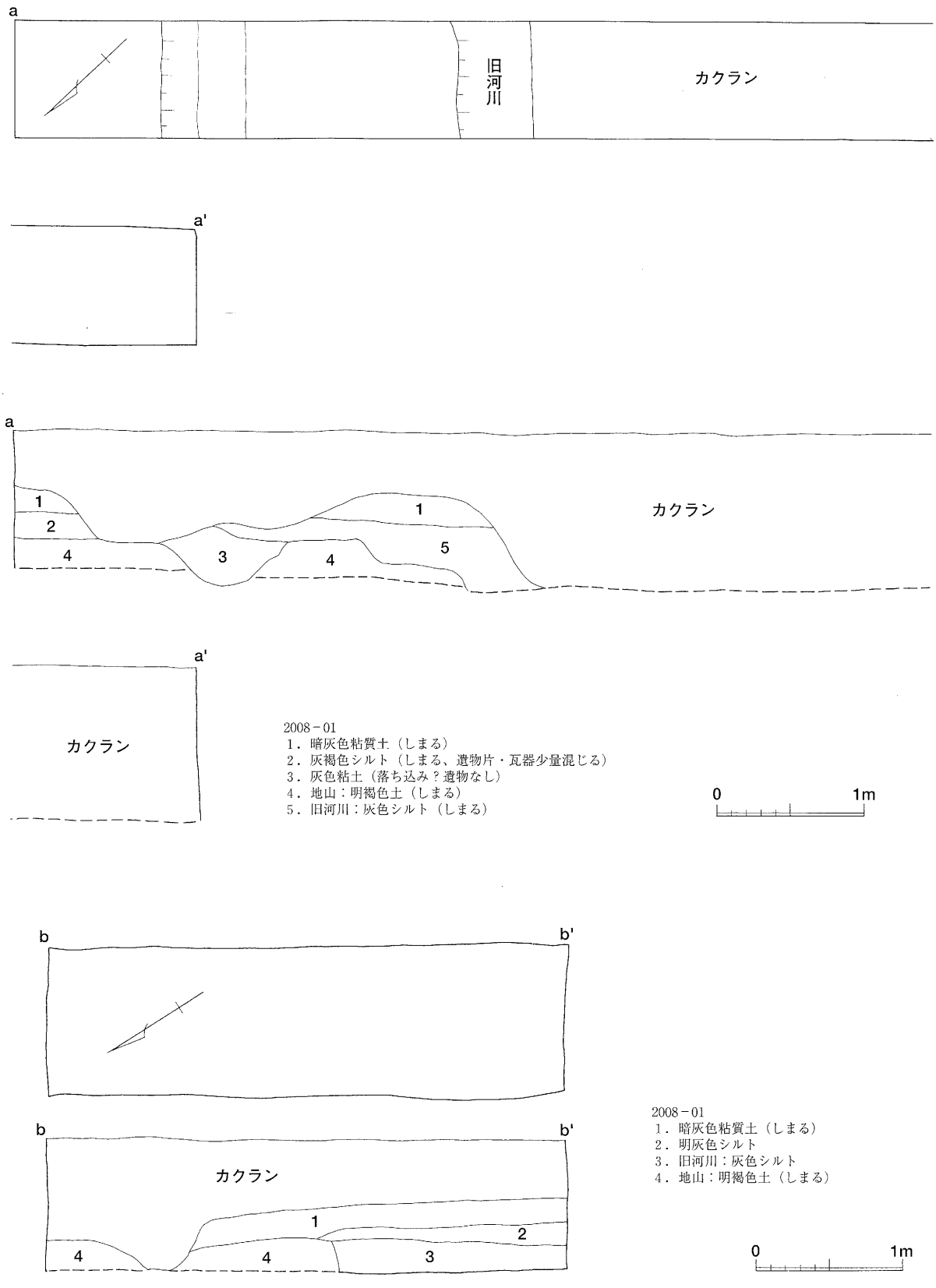
写真撮影・図面作成をおこない調査終了とした。



第７図　2008-01地点　調査区位置図（1：2,500）



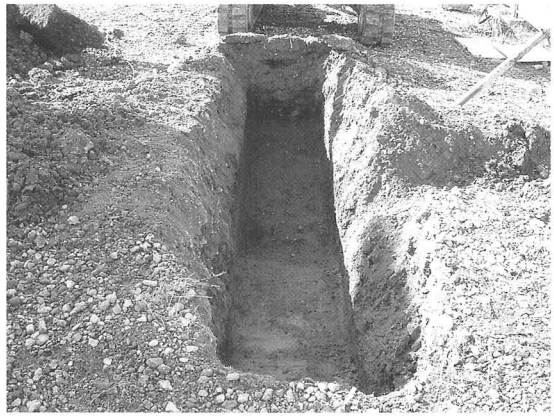
第８図　トレンチ位置図



第９図　2008-01地点　トレンチ平面図・断面図

1T全景（北から）

1T東壁　断面



2T全景（北から）

2T東壁　断面

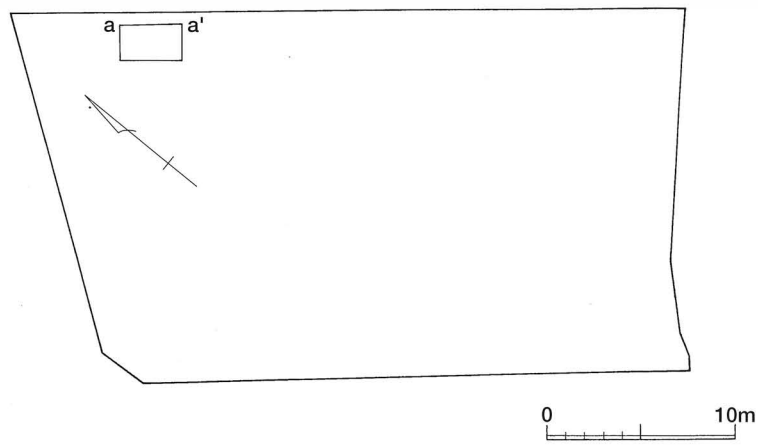
図版1　2008-01地点

２００８－０７地点（東豊中町3丁目18番1・和泉市伯太町１丁目139番１　平成20年10月3日調査）

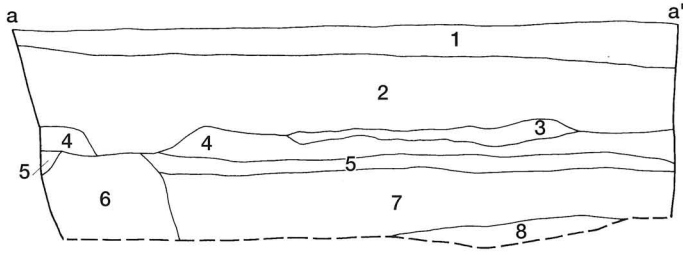
寄宿舎建設に先立つ調査である。豊中遺跡の中央部やや北東に位置する。届出範囲に幅１m、長さ3.5mのトレンチを設定し、重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

現地表面から15cmは表土、その下に盛土がなされている。その下に、旧耕作土である暗灰色砂質土、その下に旧床土である明黄灰色細砂質土、明黄褐色細砂質土、その下層に地山である茶灰色粘質土が堆積する。遺構・遺物は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。

第10図　2008-07地点　調査区位置図（1：2,500）



第11図　トレンチ位置図



2008－07
1．表土
2．盛土
3．明灰色粘質土
4．旧耕作土：暗灰色細砂質土
5．旧床土：明黄灰色細砂質土
6．明黄褐色細砂質土
7．暗黄褐色シルト（明灰色シルト混じる）
8．茶灰色粘質土

第12図　トレンチ断面図

トレンチ全景（東から）

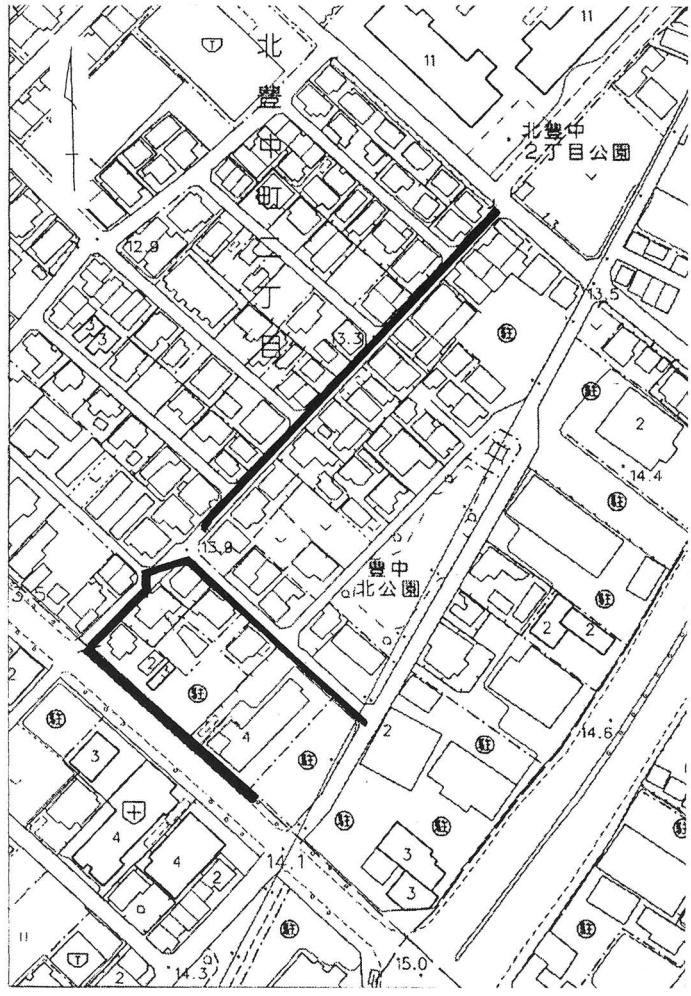
トレンチ北壁　断面

図版2　2008-07地点

２００８－０８地点（北豊中町1丁目・2丁目地内　平成20年10月7日～9日調査）

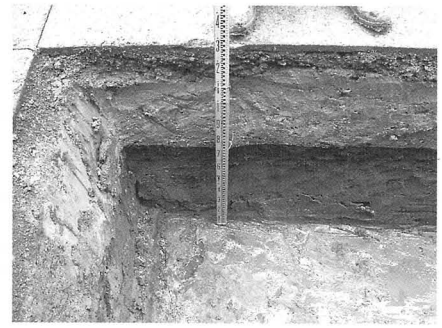
下水道管渠布設掘削工事に先立つ調査である。豊中遺跡の北部に位置する。工事範囲は市道420.4mの範囲に幅１m、長さ2.5mのトレンチ９本設定し、重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

現地表面から60cmは盛土が堆積する。その下に、旧耕作土である暗灰色粘質土層、その下に明灰褐色土、明黄灰色土の下層から少量の土師器片が出土した。その下層に地山である灰色砂が堆積する。遺構は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。



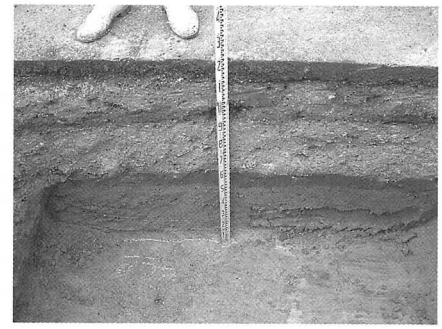
第13図　2008-08地点　調査区位置図（1：2,500）

1T東壁　断面



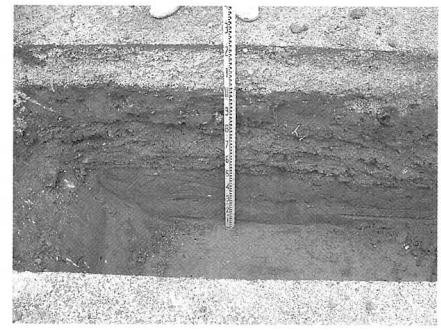
2T東壁　断面

3T東壁　断面



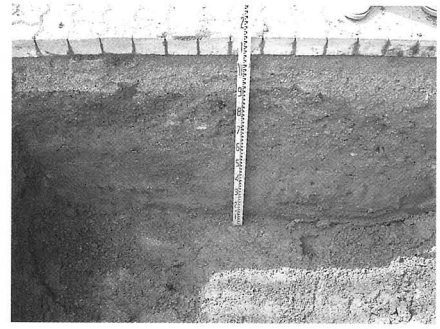
4T東壁　断面

5T北壁　断面

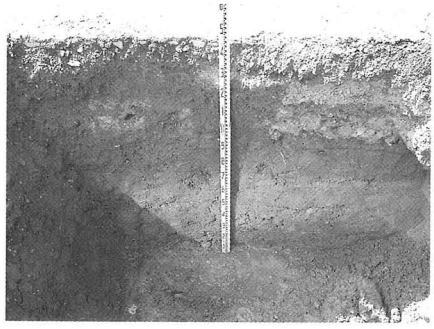


6T北壁　断面

7T南壁　断面

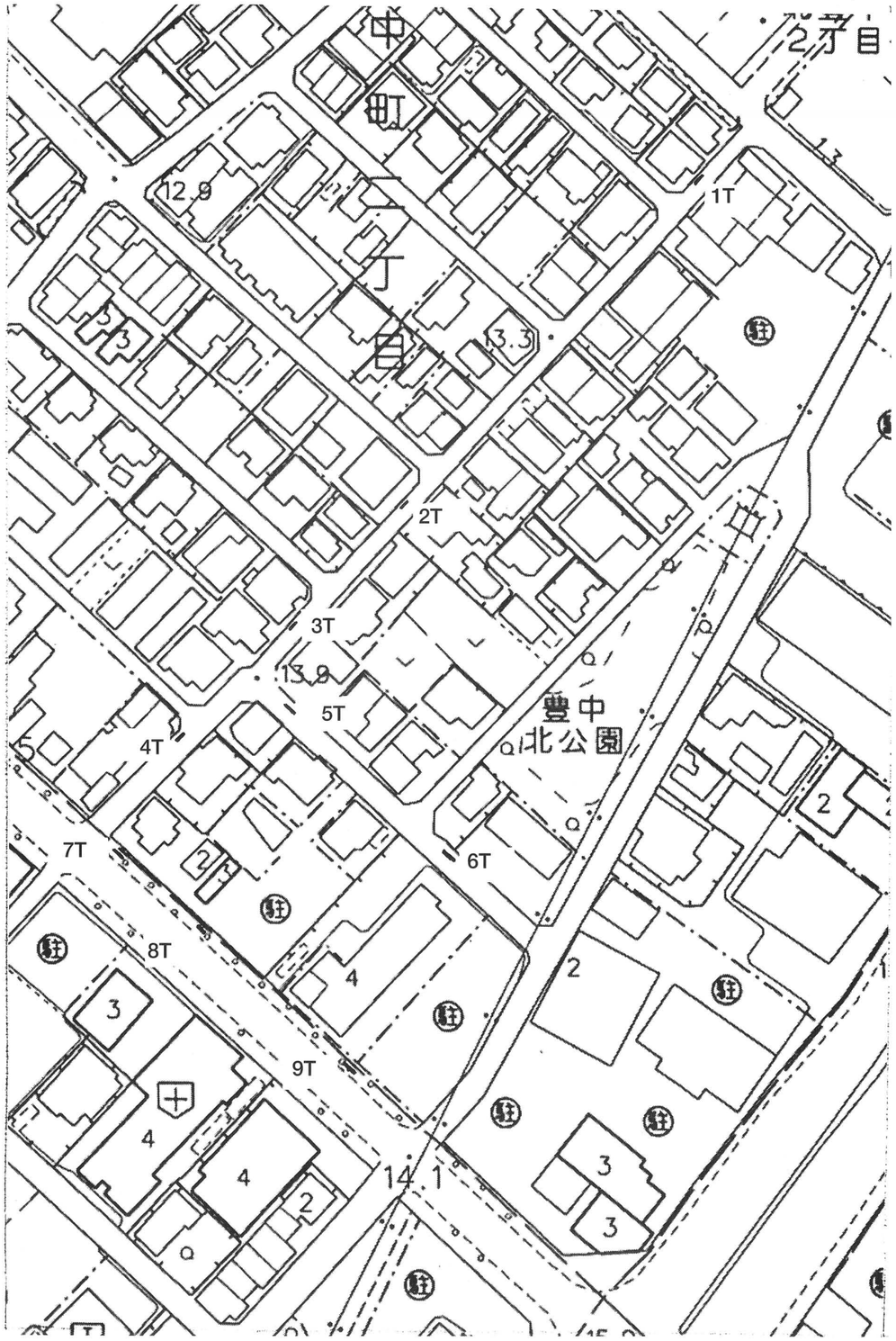


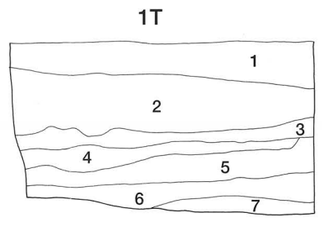
8T南壁　断面



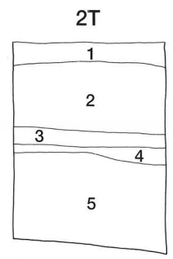
9T南壁　断面

図版3　2008-08地点

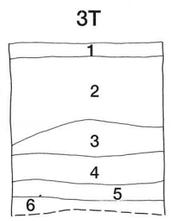




2008－08
1Ｔ
1．砕石
2．明灰色粘質土（褐色細砂質土、暗灰色シルト30%混じる）
3．暗灰色粘質土
4．明灰褐色粘質土
5．黄灰褐色粘質土
6．暗灰褐色砂（１cm大礫混じる）
7．黄褐色砂



2Ｔ
1．砕石
2．褐色粘土（暗灰色シルト30%混じる）
3．暗灰色粘質土
4．明灰褐色粘質土
5．灰色細砂

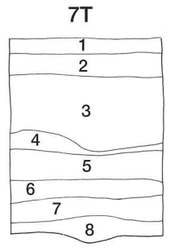


3Ｔ
1．アスファルト
2．盛土
3．暗灰色粘質土
4．明灰褐色粘質土
5．暗灰褐色砂質土
6．暗黄灰褐色砂

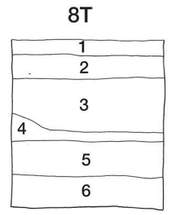
2008－08
4Ｔ
1．アスファルト
2．盛土①
3．盛土②
4．暗灰色粘質止
5．明灰褐色細砂
6．明灰色細砂
7．灰色砂

5Ｔ
1．アスファルト
2．整地土
3．盛土
4．暗灰色粘質土
5．明灰褐色細砂
6．明灰褐色砂

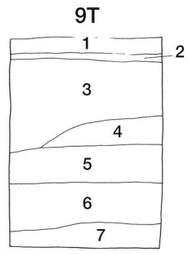
6Ｔ
1．アスファルト
2．整地土
3．盛土①
4．盛土②
5．暗灰色粘質土
6．明灰褐色細砂
7．明黄灰色粘質土
8．灰色砂



2008－08
7Ｔ
1．アスファルト
2．整地土
3．盛土
4．暗灰色粘質土
5．明褐色細砂（１cm大礫混じる）
6．明灰色粘質土
7．暗灰褐色粘質土
8．明黄灰褐色粘質土（下層に遺物混じる）



8Ｔ
1．アスファルト
2．整地土
3．盛土
4．明灰色粘質土
5．明灰褐色細砂質土（１cm大礫混じる）
6．明灰褐色砂



9Ｔ
1．アスファルト
2．整地土
3．盛土
4．明灰色粘質土（１cm大礫混じる）
5．明灰褐色粘質土（1cm大礫混じる、下層に遺物混じる）
6．暗灰褐色細砂質土
7．明灰褐色細砂質土

第14図　2008-08地点　トレンチ位置図・断面図

2．池上曽根遺跡

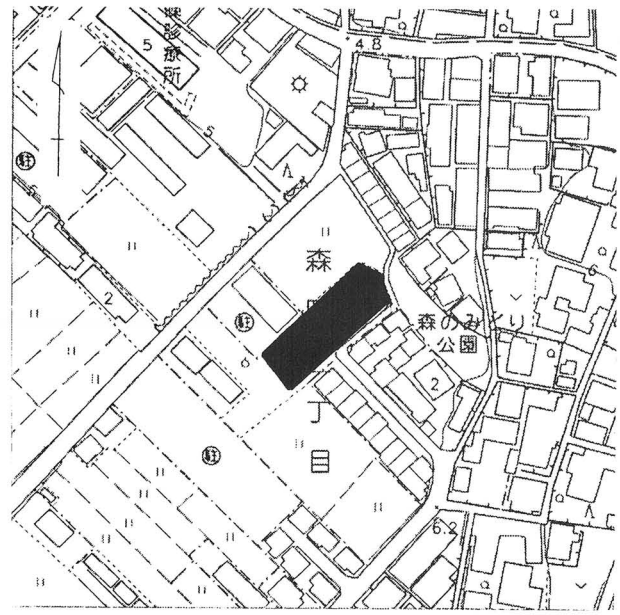
池上曽根遺跡は、本市曽根町と和泉市池上町に所在する。遺跡範囲が約105ヘクタールの広大な遺跡である。うち約11.5ヘクタールが国の史跡に指定され、3.5ヘクタールが第一期整備を経て史跡公園となっている。本市域における遺跡の範囲は、曽禰神社以西から森町・千原町の一部を含み、南北に広がる。史跡指定地域以外の地域は旧村落と昭和40年代以降の開発部分が混在しており、小区画の開発が多く大規模な調査は行われていない。そのため、史跡指定地域となっている遺跡の中心部構造に比べ、周辺部は不明な点が多い。本年は共同住宅１件の試掘確認調査を実地した。以下に詳細を示す。

２００８－０５地点（森町2丁目161番の一部、162番　平成20年9月4日調査）

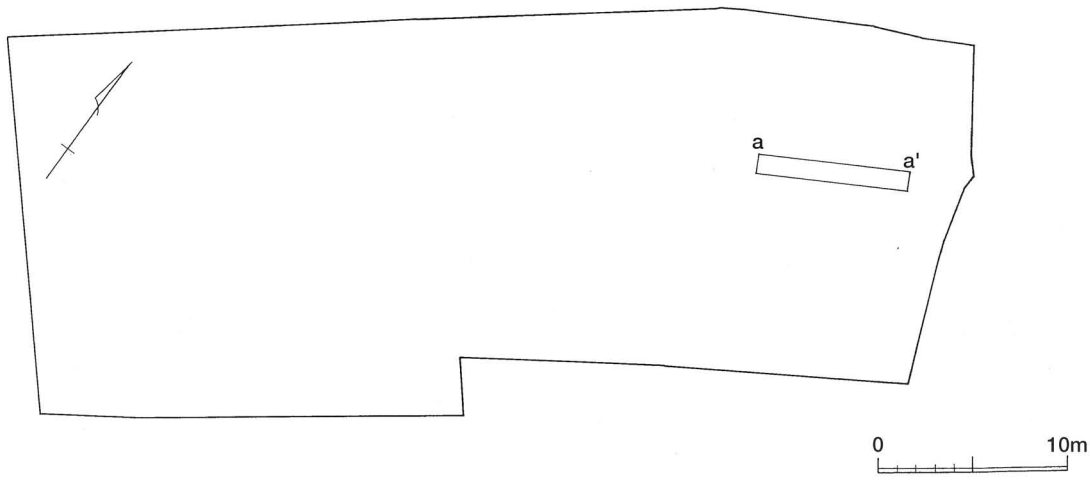
共同住宅建設に先立つ調査である。池上曽根遺跡の北部に位置する。届出範囲に幅１m、長さ８mのトレンチを設定し重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

現地表面から20cmは耕作土である。その下に床土である黄白色粘土層が確認できる。その下に地山面である褐灰色シルト質土が堆積する。その下は自然流路によって堆積された褐灰色細砂質土、黒褐色粘質土が堆積する。

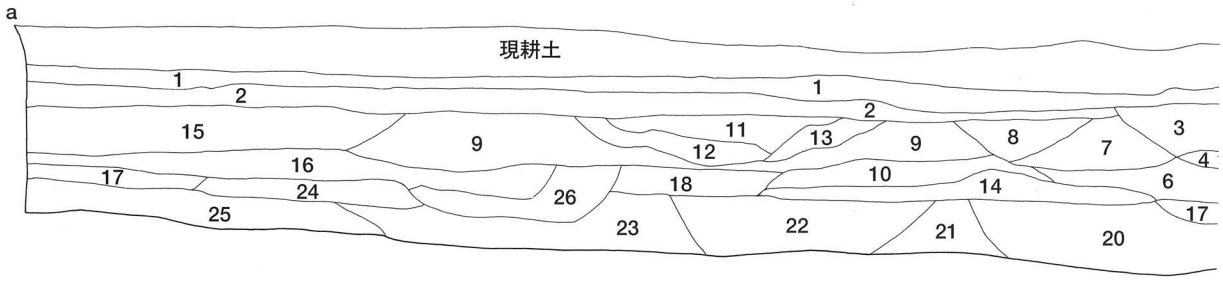
遺構・遺物は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。

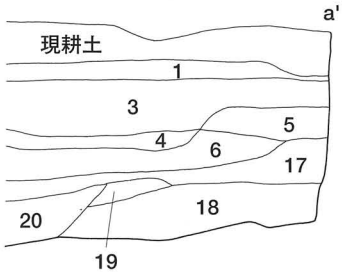


第15図　2008-05地点　調査位置図（1：2,500）



第16図　トレンチ位置図





2008－05

1．灰色土
2．床土：黄白色粘土
3．灰黄褐色細砂
4．灰色（礫混じる。3cm大の礫含む）
5．褐色細砂
6．にぶい黄褐色細砂
7．灰黄褐色細砂
8．灰黄褐色細砂
9．褐灰色細砂
10．褐色細砂（しまりがある）
11．灰白色細砂
12．灰褐色細砂（黒灰褐色混じる）
13．灰褐色細砂
14．褐色細砂（遺物含む）
15．黄褐色細砂
16．褐色細砂
17．地山：褐灰色細砂シルト
18．黒褐色粘質土
19．暗褐色粘質土
20．黒褐色粘質土（上層に遺物混じる）
21．にぶい黒褐色粘質土
22．黒褐色粘質土（褐色混じる）
23．灰黄褐色細砂
24．明褐灰色（灰褐色混じる）
25．明褐灰色粘質土
26．褐灰色細砂（上層に遺物混じる）

0　1m

第17図　2008-05　トレンチ断面図

トレンチ全景（北から）

トレンチ西壁　断面

図版4　2008-05地点

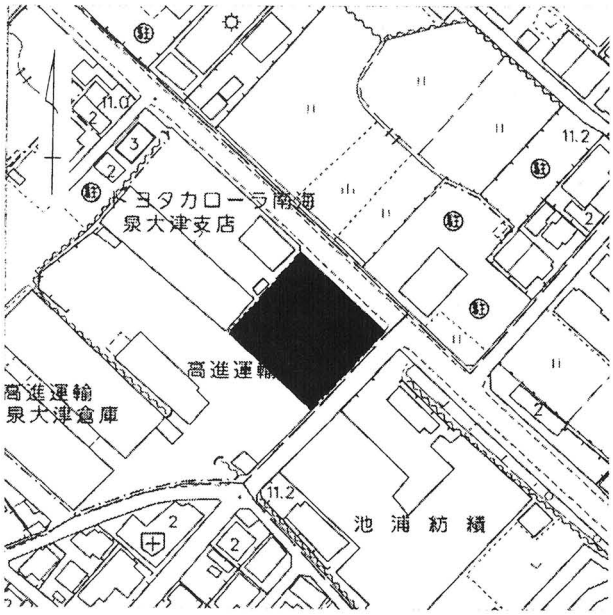
3．虫取遺跡

虫取遺跡は、池上曽根遺跡に次ぐ面積を有する遺跡である。市内においては比較的耕作地が多く残る地域であるが、近年は、共同住宅・宅地造成などの開発が増加している地域である。平成14年度の調査で中世の居館と思われる遺構を確認しており、今後の調査が期待される。本年は店舗建設工事（１件)、個人住宅（１件)、工場建設工事（１件）計３件の試掘確認調査を行った。以下、調査地点ごとに詳細を記す。

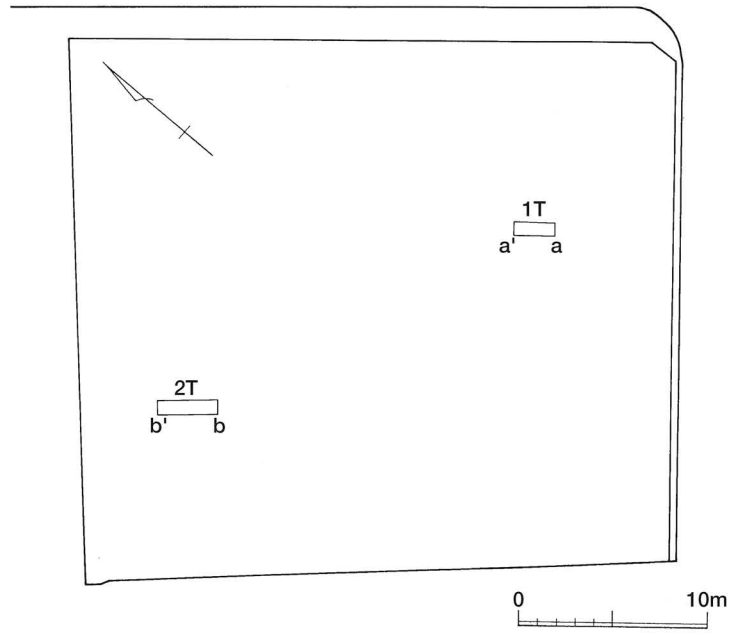
２００８－０２地点（我孫子2丁目192　平成20年3月27日調査）

店舗建設に先立つ調査である。虫取遺跡の東端部に位置する。建物建設予定の範囲に2本のトレンチを設定し、重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

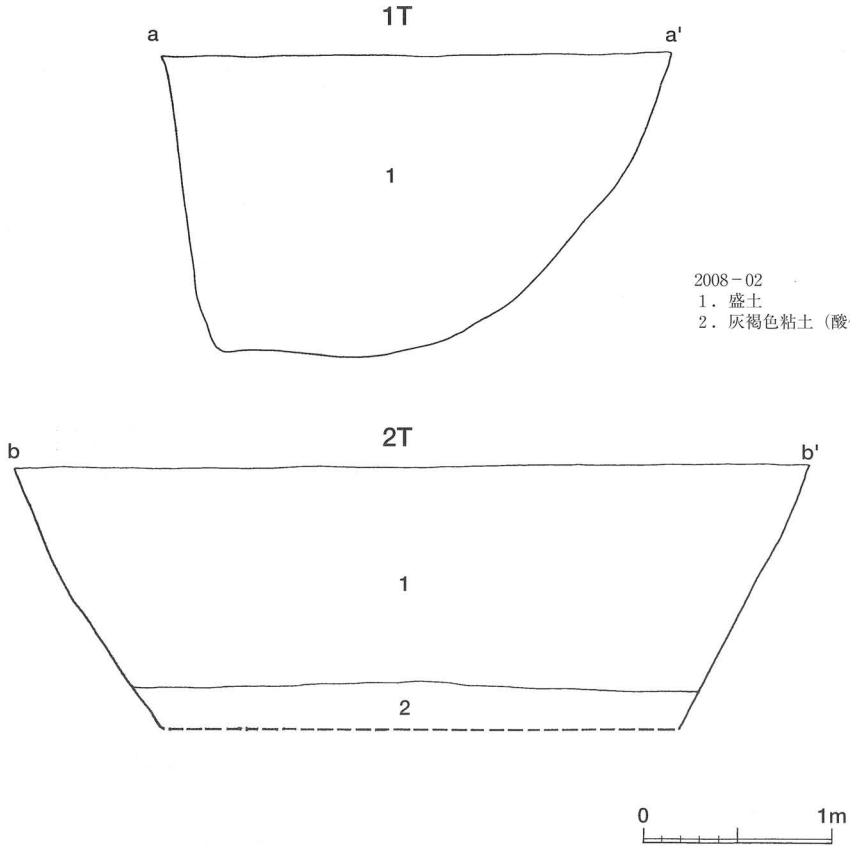
現地表面から120～150cmは盛土がなされている。その下に、地山である灰褐色粘土層が確認できる。旧表土・耕作土などは確認できず、近現代に削平を受けたと考えられる。遺構・遺物は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。



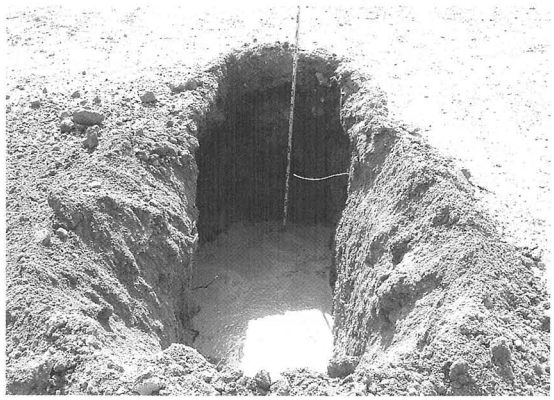
第18図　2008-02地点　調査区位置図（1：2,500）



第19図　トレンチ位置図

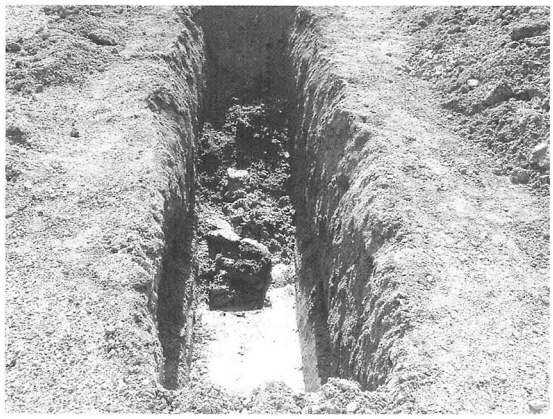


第20図　2008-02　トレンチ断面図



1T　全景

1T　西壁　断面



2T　全景（北から）

2T　西壁　断面

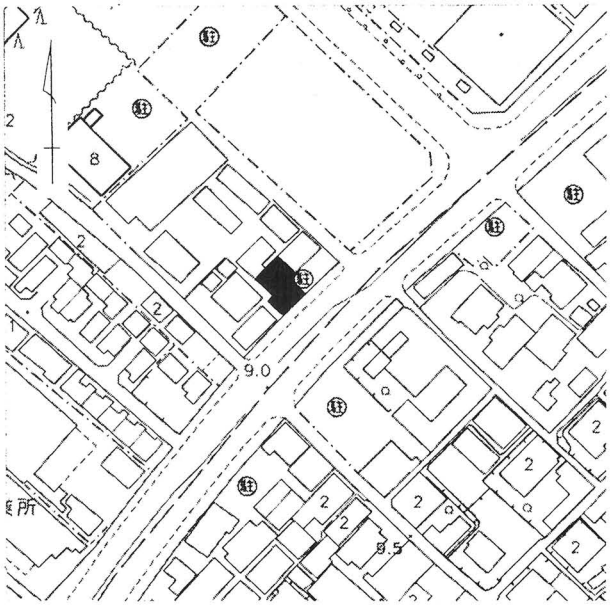
第20図　2008-02　トレンチ断面図

２００８－０３地点（池浦町1丁目24番5、24番１の一部　平成20年4月2日調査）

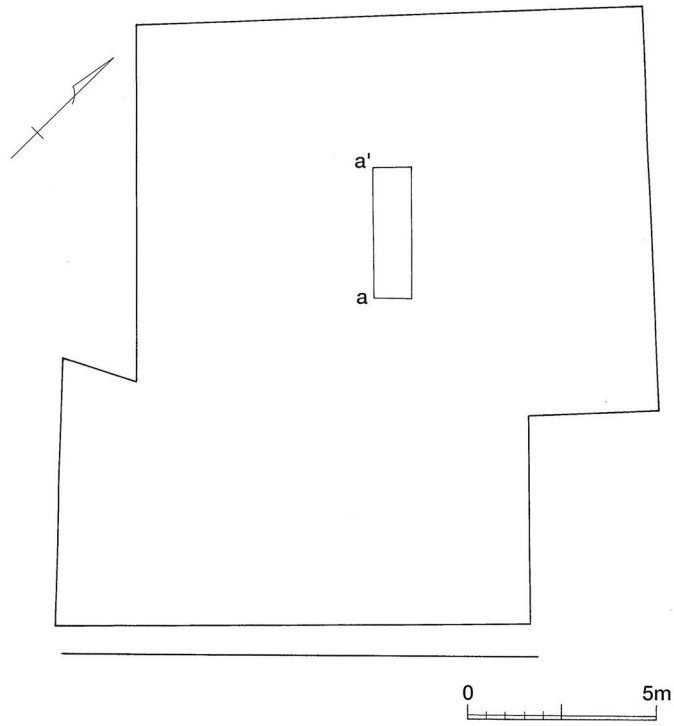
個人住宅建設に先立つ調査である。虫取遺跡の北部に位置する。建物建設予定の範囲に幅1m、長さ3.5mのトレンチを設定し重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

現地表面から30cmは盛土がなされている。その下に旧耕作土である黒灰色粘質土層が確認できる。その下に旧床土である淡灰褐色粘土、黒褐色土が堆積する。その下層に地山である淡灰褐色砂質土、灰色砂が堆積する。

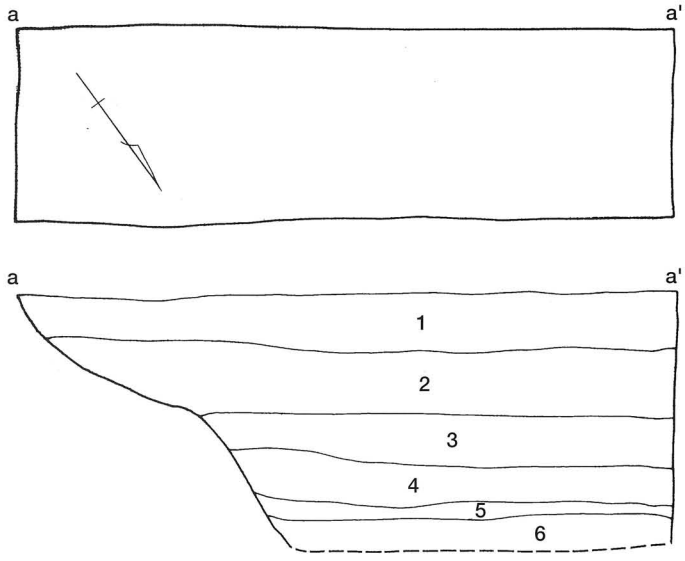
遺構・遺物は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。



第21図　2008-03地点　調査区位置図（1：2,500）



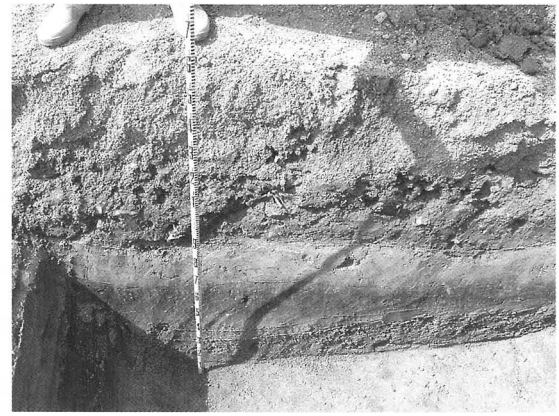
第22図　トレンチ位置図



2008－03
1．盛土
2．旧耕作土：黒灰色粘質土（ガラ混じる）
3．旧床土か？：淡灰褐色粘土（しまる）
4．黒褐色土（やや粘質しまる、直径２m程の砂礫少量５%混じる）
5．淡灰褐色砂質土（しまる、やや粒子あらい）
6．地山：灰色砂

第22図　トレンチ位置図

トレンチ全景（東から）



トレンチ南壁　断面

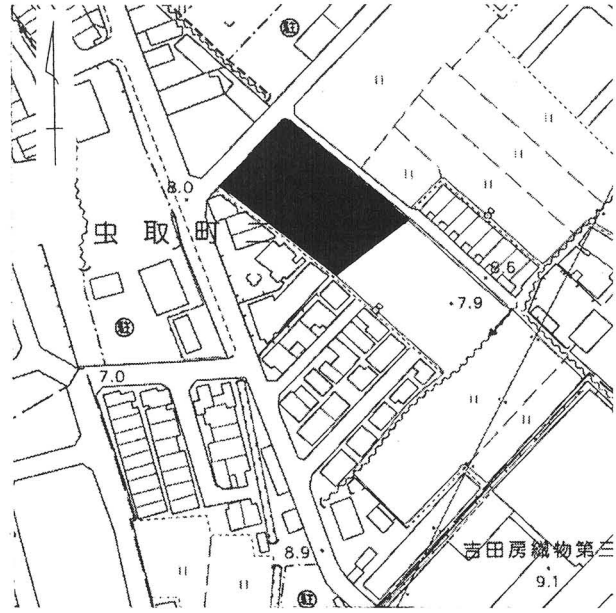
図版6　2008-03地点

２００８－０６地点（虫取町2丁目96番１　平成20年9月22日調査）

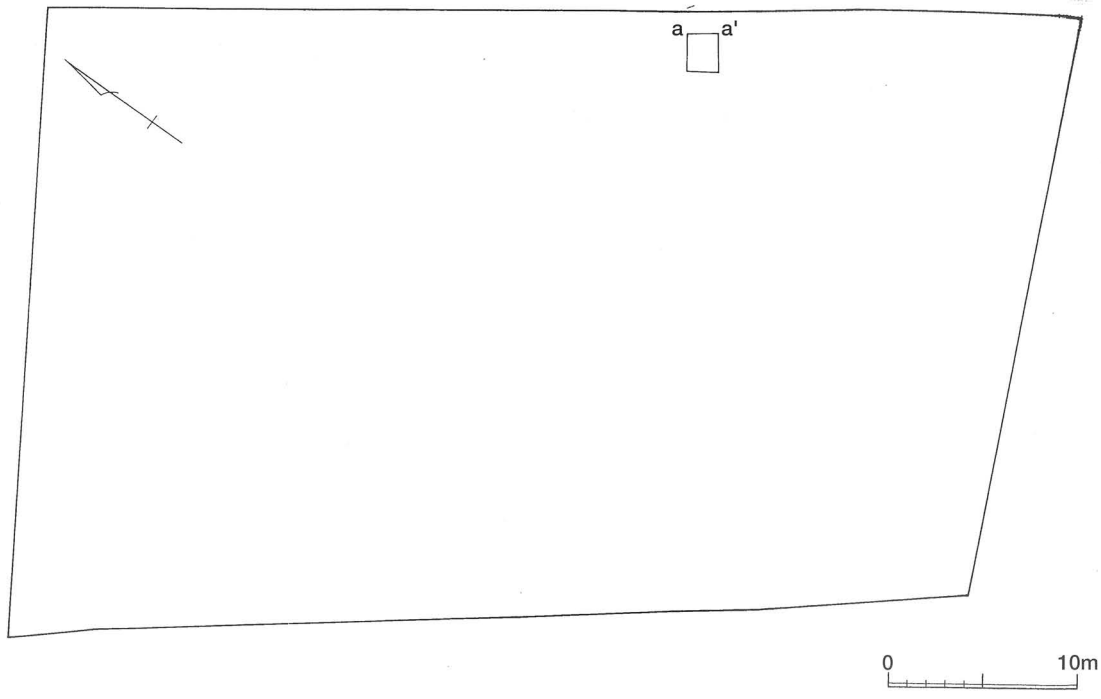
工場建設に先立つ調査である。虫取遺跡の西部に位置する。建物建設予定の範囲に幅2.1m、長さ1.7mのトレンチを設定し重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

現地表面から30cmは盛土である。その下に灰褐色砂質土、灰黄褐色細砂質土、黄褐色粘質土が堆積する。

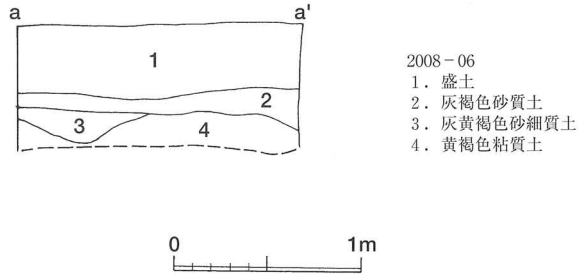
遺構・遺物は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。



第24図　2008-06地点　調査区位置図（1：2,500）



第25図　トレンチ位置図



2008－06
1．盛土
2．灰褐色砂質土
3．灰黄褐色砂細質土
4．黄褐色粘質土

第26図　2008-06　トレンチ断面図

トレンチ全景（南東から）

トレンチ北東壁　断面

図版7　2008-06地点

4．板原遺跡

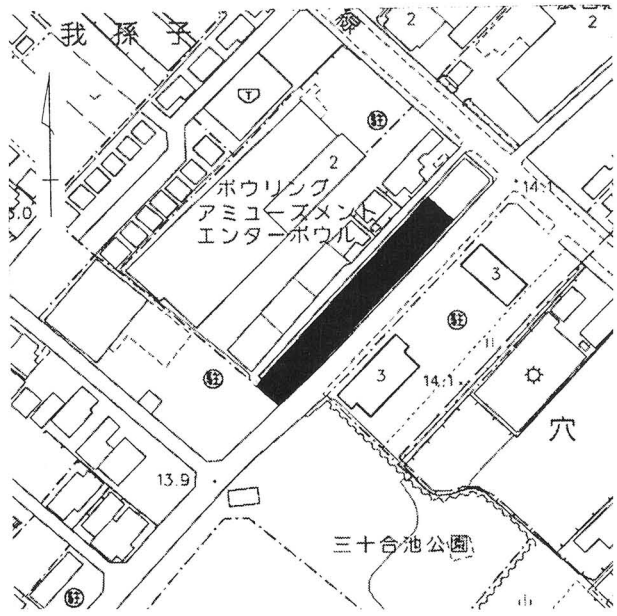
板原遺跡は、板原を中心とし、東南部は和泉市肥子町に広がる。国道26号線の整備に伴う調査により縄文時代の流路や鎌倉時代の掘立柱建物などが確認されている。平成17年度の調査で中世の耕作状況がうかがえる素掘小溝群を確認している。本年は共同住宅（１件）の試掘確認調査を行った。以下に詳細を記す。

２００８－０４地区（我孫子１１３番地1号　平成20年6月24日調査）

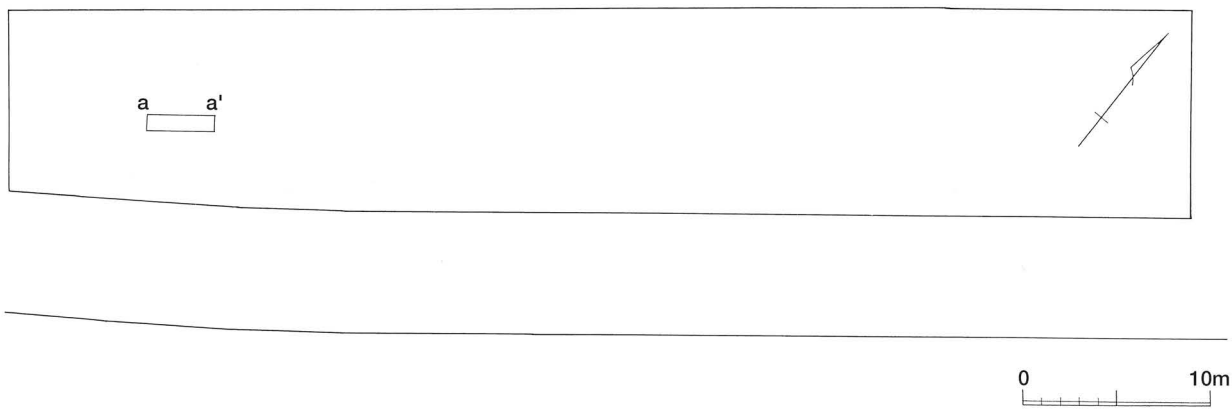
共同住宅建設に先立つ調査である。板原遺跡の北部に位置する。建物建設予定の範囲に幅1m、長さ4.5mのトレンチを設定し重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

現地表面から20cmは耕作土である。その下に床土であるにぶい橙色粘質土層が確認できる。その下に暗灰白色シルト質土が堆積し、地山面と考えられる。その下層は明黄褐色礫混じり砂質土、にぶい黄褐色土砂礫が堆積する。

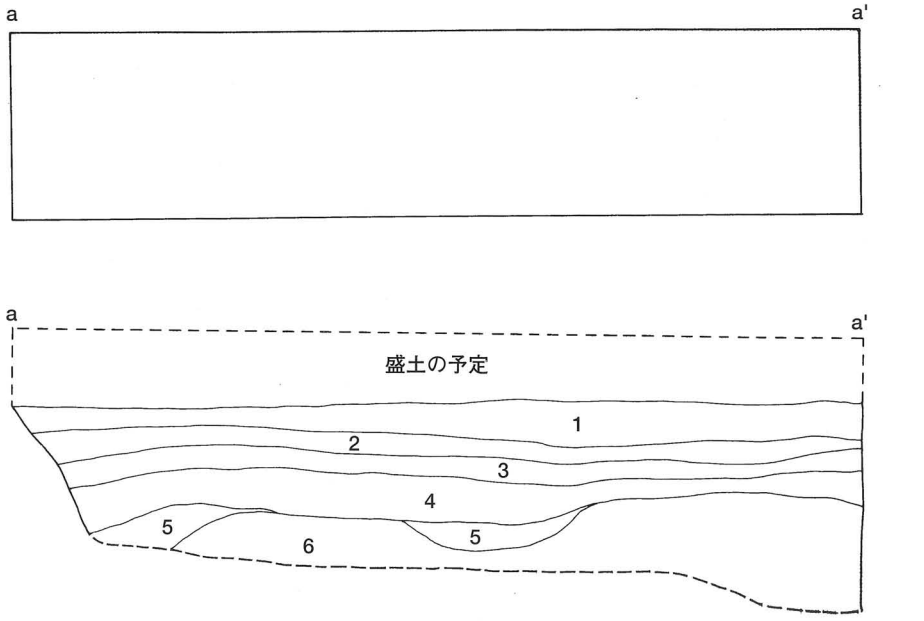
遺構・遺物は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。



第27図　2008-04地点　調査区位置図（1：2,500）



第28図　トレンチ位置図



2008－04
1．耕作土：褐灰色粘質土（わずかに土混じる）
2．床土：にぶい橙色粘質土
3．地山：暗灰白色シルト質土
4．明黄褐色シルト質土
5．明黄褐色砂質土（礫混じる）
6．にぶい黄褐色砂礫土

第29図　トレンチ断面図

トレンチ全景（南から）

トレンチ西壁　断面

図版8　2008-04地点

5．池浦遺跡

池浦遺跡は、弥生時代前期中段階に始まる、泉州地域で最も古い弥生集落として知られている。市のほぼ中央部に位置し、遺跡の中心部は市立病院の東側であると推測される。池上曽根遺跡との関わりを考察する上で重要な遺跡であるが、これらの調査成果は昭和40～50年代にかけてのことで、昭和60年代以降は、大規模開発がほとんどみられない。これにより、近年の調査は確認調査にとどまっている。平成９年度の調査で朝鮮系の無文土器の体部を検出したが、遺構は認められなかった。

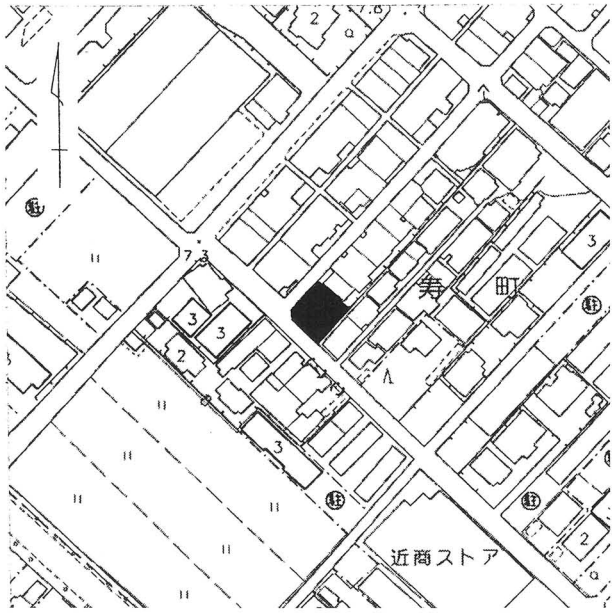
本年度は個人住宅（１件）、葬儀場建設工事（１件）、計２件の試掘確認調査を行った。以下、調査地点ごとに詳細を記す。

２００８－０９地区（寿町78番１　平成20年10月16）日調査）

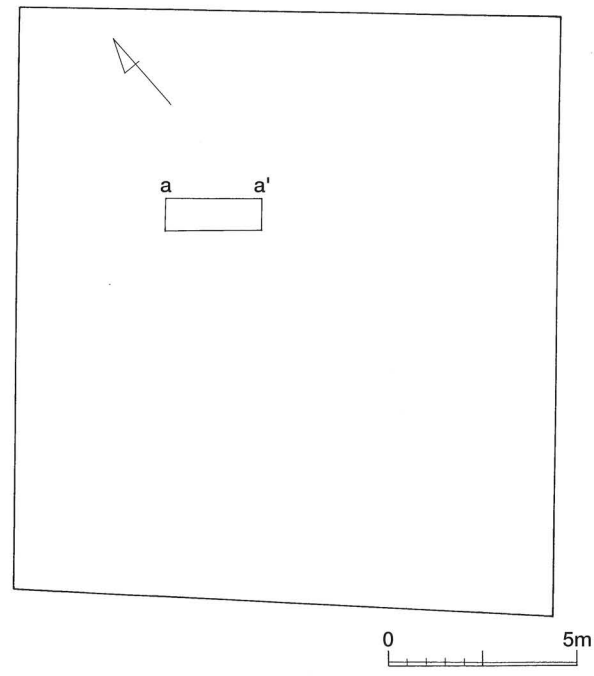
個人住宅建設に先立つ調査である。池浦遺跡の北部に位置する。届出範囲に幅１m、長さ2.5mのトレンチを設定し重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

現地表面から40cmは盛土がなされている。その下に旧耕作土である暗灰色細砂質土層、その下に明灰褐色土層が堆積する。

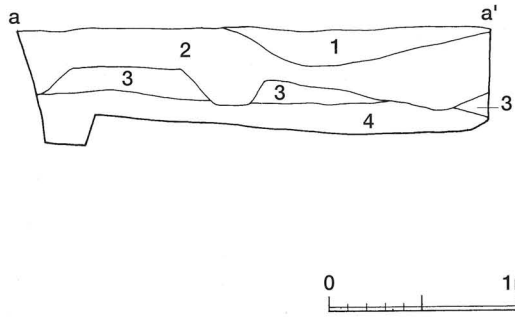
遺構・遺物は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。



第30図　2008-09地点　調査区位置図（1：2,500）



第31図　トレンチ位置図



2008－09
1．盛土①
2．盛土②
3．旧耕作土：暗灰色細砂質土
4．明黄灰色シルト質土

第32図　トレンチ断面図

トレンチ全景（西から）

トレンチ北壁　断面

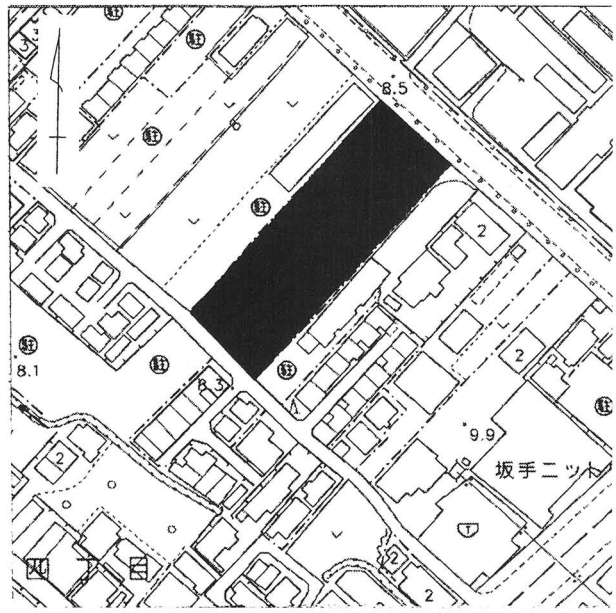
図版9　2008-09地点

２００８－１０地区（池浦町4丁目308番1、309番1、310番1　平成20年10月22日調査）

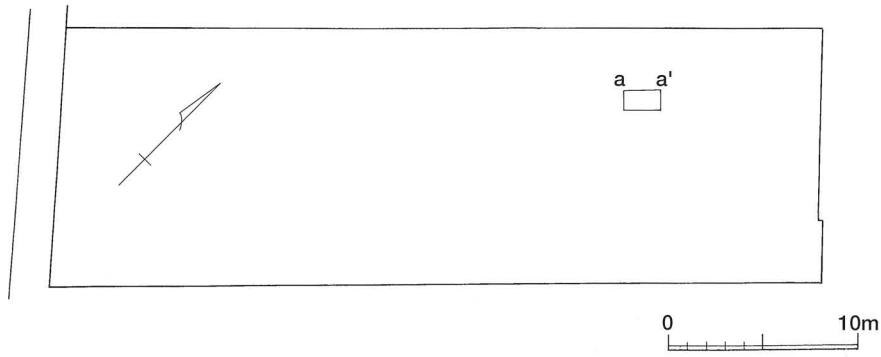
葬儀場建設に先立つ調査である。池浦遺跡の中央部に位置する。構造物建築予定地に幅1.2m、長さ2.9mのトレンチを設定し重機にて掘削を開始し、その後人力により調査を実施した。

現地表面から40cmは旧耕作土である暗灰色土層、その下は旧床土、黄褐色シルト（礫混じり）、暗茶褐色砂質土（礫混じり）、橙色砂質土である。その下層に地山である灰黄褐色砂、青灰色粗砂が堆積する。

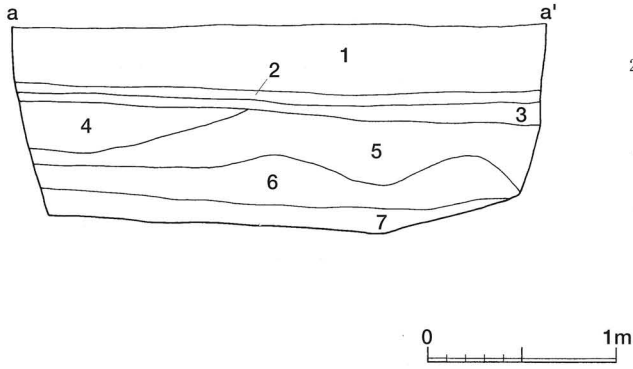
遺構・遺物は確認できない。写真撮影・図面作成などを行い調査終了とした。



第33図　2008-10地点　調査区位置図（1：2,500）



第34図　トレンチ位置図



2008－10
1．耕作土：暗灰色土
2．床土
3．黄褐色シルト（礫混じる）
4．暗茶褐色砂質土（礫混じる）
5．橙色砂質土
6．灰黄褐色砂
7．青灰色粗砂

第35図　トレンチ断面図

トレンチ全景（南から）

トレンチ西壁　断面

図版10　2008-10地点

発掘調査概報抄録

ふりがな	いずみおおつしまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいほう
書名	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報
副書名	
巻次	27
シリーズ名	泉大津市文化財調査報告
シリーズ番号	43
編著者名	奥野美和
編集機関	泉大津市教育委員会
所在地	〒595－8686　大阪府泉大津市東雲町9番12号
発行年月日	西暦　2009年3月31日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査対象面積 ㎡	調査原因
豊中遺跡	大阪府泉大津市北豊中町2丁目988-1番の一部 調査番号2008-01	272060		34度29分48秒	135度25分27秒	20080115	147.36	鉄骨平屋建貸店舗建設に伴う事前調査
	大阪府泉大津市東豊中町3丁目18番1 調査番号2008-07	272060		34度29分35秒	135度25分41秒	20081003	640.23	鉄骨3階建高齢者専用寄宿舎に伴う事前調査
	大阪府泉大津市北豊中町1丁目・2丁地内 調査番号2008-08	272060		34度29分45秒	135度25分30秒	20081007 ～ 20081009	661	下水道管渠掘削工事に伴う事前調査
池上曽根遺跡	大阪府泉大津市森町2丁目161番の一部・162番 調査番号2008-05	272060		34度30分32秒	135度25分30秒	20080904	970.09	鉄骨3階建共同住宅建設に伴う事前調査
虫取遺跡	大阪府泉大津市我孫子7-1 調査番号2008-02	272060		34度29分33秒	135度24分51秒	20080327	1424	鉄骨平屋建店舗建設工事に伴う事前調査
	大阪府泉大津市池浦町2丁目4番5号 調査番号2008-03	272060		34度29分49秒	135度25分46秒	20080402	217.04	木造2階建個人住宅建設に伴う事前調査
	大阪府泉大津市虫取町2丁目96番1 調査番号2008-06	272060		34度29分38秒	135度24分25秒	20080922	1723.33	鉄骨2階建工場建設に伴う事前調査

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査対象面積 ㎡	調査原因
板原遺跡	大阪府泉大津市我孫子113番地1号 調査番号2008-04	272060		34度29分21秒	135度25分2秒	20080624	1073.52	鉄骨3階建共同住宅建設に伴う事前調査
池浦遺跡	大阪府泉大津市寿町78番1 調査番号2008-09	272060		34度30分10秒	135度25分1秒	20081016	224.39	木造3階建個人住宅建設に伴う事前調査
	大阪府泉大津市池浦町4丁目308番・309番・310番1 調査番号2008-10	272060		34度30分4秒	135度24分58秒	20081022	3449.76	鉄骨平屋建(葬儀場)建設に伴う事前調査

所収遺跡名		種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
豊中遺跡	2008-01	散布地 集落跡	縄文 弥生 古墳 平安 中世	遺構は検出されなかった	なし	
	2008-07			遺構は検出されなかった	なし	
	2008-08			遺構は検出されなかった	土師器片等	
池上曽根遺跡	2008-05	集落跡	弥生 古墳 奈良 平安 中世	遺構は検出されなかった	なし	
虫取遺跡	2008-02	集落跡	弥生 中世	遺構は検出されなかった	なし	
	2008-03			遺構は検出されなかった	なし	
	2008-06			遺構は検出されなかった	なし	
板原遺跡	2008-04	集落跡 生産遺跡	縄文 古墳 中世 近世	遺構は検出されなかった	なし	
池浦遺跡	2008-09	集落跡	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	なし	
	2008-10			遺構は検出されなかった	なし	

泉大津市文化財調査報告43

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報27

２００９年３月

発　行　泉大津市教育委員会
編　集　生涯学習課
泉大津市東雲町９番12号

印　刷　和泉市池上町４丁目２番21号
和泉出版印刷株式会社